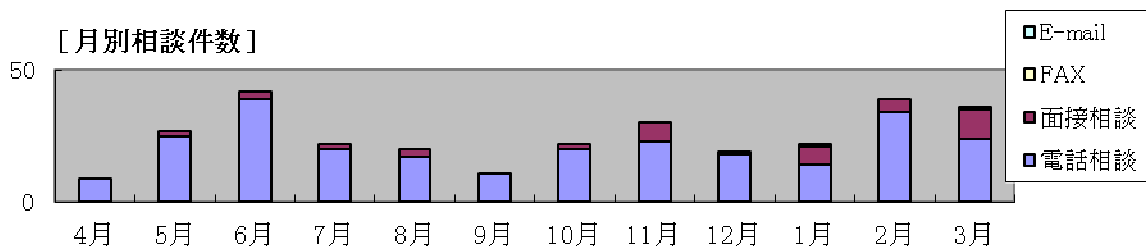


がんに関する相談状況（宮城県がん相談支援センター）

公益財団法人宮城県対がん協会に設置された「宮城県がん相談支援センター」における平成24年度の相談状況は次のとおりです。（地域統括相談支援事業に基づく宮城県委託事業）

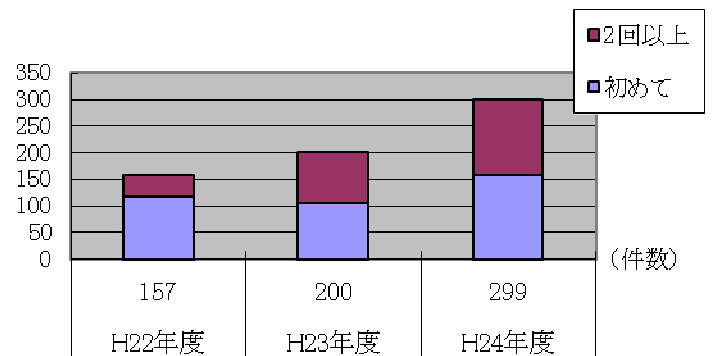
1 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平成24年度	割合(%)
電話相談	9	25	39	20	17	11	20	23	18	14	34	24	254	87
面接相談	0	2	3	2	3	0	2	7	1	7	5	11	43	12
FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E-mail	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1
計	9	27	42	22	20	11	22	30	19	22	39	36	299	100



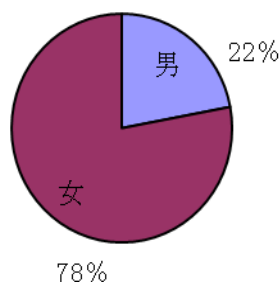
2 利用回数

	H22年度		H23年度		H24年度	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
総数	157	74	200	52	299	53
初めて	117	74	104	52	157	53
2回以上	40	26	96	48	142	47

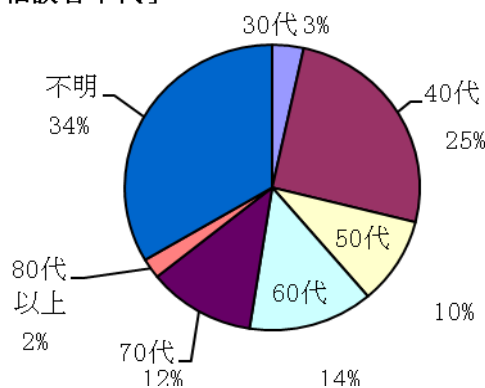


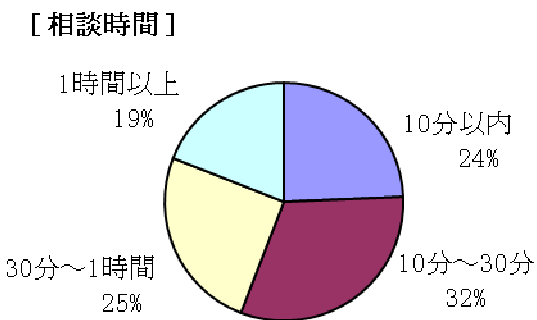
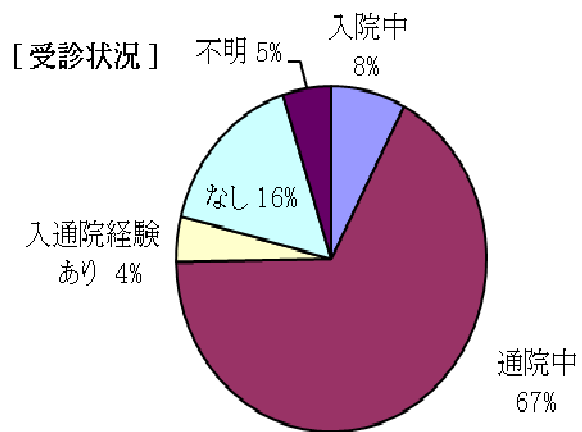
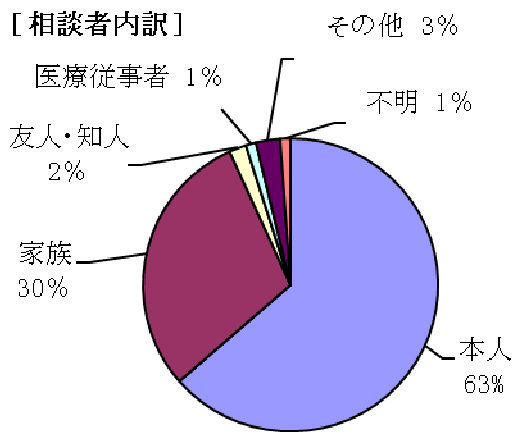
3 相談者の属性

[相談者性別]

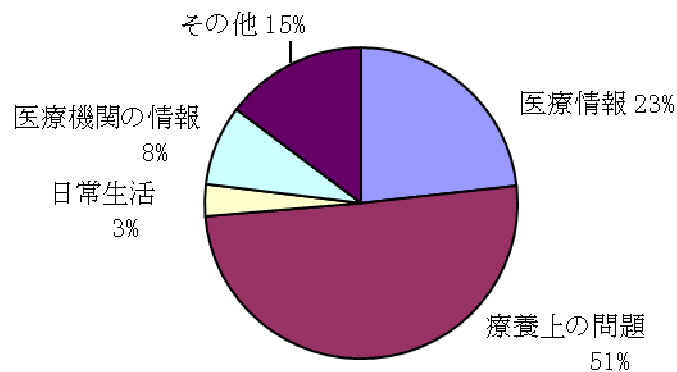


[相談者年代]





4 相談内容



①療養上の問題（精神面，在宅医療・訪問看護，食事・栄養，患者・家族・医療者との関係）

- 口内炎の対応方法や口腔ケア。
- 味覚障害への対応方法。
- 症状が悪化すると、娘とのコミュニケーションが上手く出来ない。
- 夫の病状を踏まえてどのようにしていったらよいか分からない。
- 体調が不安定で不安が強い。
- 夜間に突然死にたくなる。

- 主治医が症状に対してきちんと対応してくれない。
- 主治医やスタッフが変わり関係がうまく取れない。
- 苦痛がなく出来るだけ今のまま在宅で見たいのでどの様にすればよいか。
- 終末期の緩和ケアや介護方法について継続相談。
- 療養上の不安についての継続相談。
- 抗がん剤の副作用についての不安。
- もう治療法が無いといわれてどう話したらよいか分からない。
- グリーフケアの継続。
- がんと精神疾患を持つ介護者の疲れと怒り。
- 再発の不安。
- 治療後の療養について病院との調整するにあたりどう話したらよいか。
- うつ症状があり今後の日常生活の過ごし方について。

②日常生活（経済面、社会生活）

- がんと仕事の調整について。
- 放射線治療費について。
- 内縁の妻が北海道在住でと仙台で治療している夫を支援しているが貯蓄が底を突き、医療費をどうしたらよいか。
- 母親の介護をする間に子供を預かってくれるところはないか。
- 病状の進行があり今後の心構えについて教えてもらいたい。
- がん検診の費用について知りたい。
- 傷病手当金について。

③医療機関の情報（病院の情報、緩和ケア、セカンドオピニオン）

- 病院の電話番号が知りたい。
- お勧めの病院はあるか。
- 胃がんの放射線治療をしている病院を知りたい。
- 前立腺の専門病院が知りたい。
- 抗がん剤治療中でインフルエンザの予防接種の出来るところを知りたい。
- 皮膚がんの対応病院はどこか。
- がんといわれたが、がんの専門医にかかったほうが良いか。
- 認知症状のあるがん患者を受け入れてくれるところはないか。

④その他（患者会、各機関へ情報提供）

- いつでもふらっと立ち寄れるところはないのか。
- 患者会を探している。
- 遺族会はないのか。
- 患者会への問い合わせ。
- 当相談支援センターは何をしてくれるところか。
- ホットサロンでの人間関係について。
- ピアサポーターの研修会の問い合わせ。